

# 本院の院内感染防止対策の取り組みについて

近年の医療の高度化、多様化などにより高まっている院内感染のリスクに対して、本院では、感染対策委員会、感染制御部、感染制御チーム(ICT)及び抗菌薬適正使用支援チーム(AST)を組織し、感染対策に取り組んでいます。

## 感染対策委員会

病院長をはじめ、院内各部門の代表を委員とする院内感染防止のための委員会です。毎月1回会議を開催し、感染防止対策に関する審議や意思決定を行っています。

## 感染制御部

感染対策業務を推進する部門です。感染対策の専門資格を有する医師や看護師、薬剤師、臨床検査技師を中心に、感染制御チームのメンバーと協力して日々の業務を行っています。

## 感染制御チーム(Infection Control Team : ICT)

医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・栄養士・事務職員など幅広い職種で構成されたチームです。それぞれの専門分野を活かし、多様な課題に対応できる体制をとっています。

## 抗菌薬適正使用支援チーム(Antimicrobial Stewardship Team : AST)

医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・事務職員などの職種で構成されたチームです。それぞれの専門分野を活かし、院内の抗菌薬の適正使用を監視する体制をとっています。

## 感染制御部の主な活動内容

### 1. 院内感染サーベイランス、定期カンファレンス、病棟巡回

院内検出の病原体情報を収集し、院内感染の発生を監視(サーベイランス)しています。カンファレンスの定期開催や病棟巡回を行い、現状の把握や実地指導を行っています。

### 2. 院内感染発生時の感染拡大防止対策

院内感染発生時には、病棟スタッフと協力して感染拡大の防止に努めます。

### 3. 院内感染防止に関する職員の教育・研修

全職員を対象に年2回の研修会を開催しています。また随時、現場での教育も行っています。

### 4. 感染対策マニュアルの作成と利用

病院感染対策マニュアルを作成し、職員全員が利用できるように各部署に配布したり、医療用端末(電子カルテ)でも閲覧可能にしています。

### 5. 抗菌薬の適正使用の推進

感染症治療の早期モニタリング、抗菌薬の適正使用に係る評価、抗菌薬適正使用の教育、啓発、抗菌薬適正使用ミーティングの開催およびマニュアル作成・配布などを行っています。

### 6. 連携医療機関との感染対策合同カンファレンス・相談対応

300床未満の連携医療機関との合同カンファレンスや相談対応を行い、地域医療機関の院内感染防止にも貢献しています。

### 7. 連携医療機関との院内感染対策相互チェック

全国の国公立大学附属病院および県内中核医療機関と院内感染対策の相互評価(施設訪問)を行い、高いレベルの院内感染防止体制の維持に努めています。

### 8. 院内感染対策サーベイランス

厚生労働省院内感染対策サーベイランス(JANIS)、熊本県感染管理ネットワークや国公立大学附属病院感染対策協議会のサーベイランスに参加しています。